



植林状況を調査する柳州地区青年連合会主席李澤氏(左)



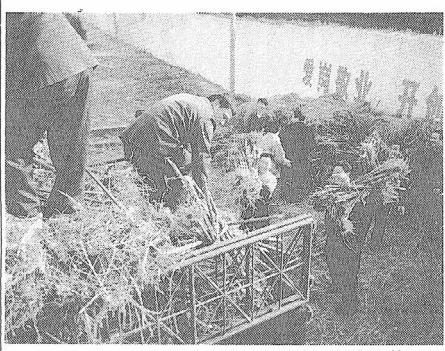
柳州地区象州県青年ボランティアも植林活動に参加



柳州地区金秀ヤオ族自治県青年ボランティアによる植林



柳州地区來賓県の多数の青少年が参加した「母なる河」を保護する絵画コンクール

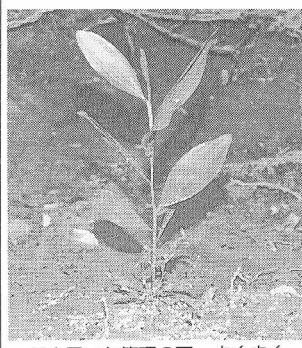


來賓県林業局の方などによる苗木の引き取り

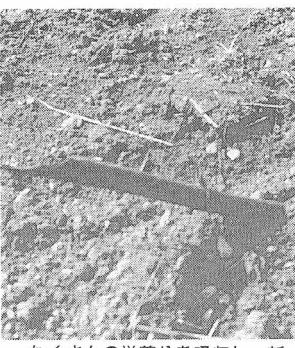
とアルミの含有量が高く、裸地の土壤の貧弱化を招いている。一方、樹林地区では、植皮は茂り、生物質の蓄積が低く、高温多雨地域である。そこで、土壤中の物質と循環はきわめて良好であり、土壤の肥力は絶えず高まっている。

従ってプロジェクトの実施中に環境保護の問題は非常に重要な要素となる。不當な整地と山の開削は水土の流失を招く恐れがある。そのため整地の際に適切な環境保護措置をとり、実際に自然資源を利用することによって土壤の汚染と生産性の破壊に歴史止めをかけられることである。

中国では多角的な植林緑化の取り組みがなされていますが、一方、わが国から日本政府による中国支援のほか、NGO等による中国での植林緑化協力の取り組みが行われてきました。平成12年、日中緑化交流基金は、日中民間緑化協力委員会設立金の「小測基金」により、わが国の民間団体等が中国において中国側のカウンターパートとともに共同して行う植林緑化活動、具体的には、中国の植林緑化政策に適合する長江・黄河流域などにおける23の案件に対し助成することになりました。そして、今回第1回目の植林緑化運動を日中双方企画のもと柳州地区來賓県で行ったのです。



行き届いた管理の下、すくすくと育つ馬占相思の苗木



たくさんの栄養分を吸収し、新芽を出した雑交竹



良種のユウカリの苗木が育つ



野生動物に与える影響

このマークは、同志の世界を意味し、私たちの絆として用いられてきました。左半分はローマ字意味を表しています。

WのUでYou(あなた)と手を結び合うWe(私たち)とWorld(世界)ののみの樹種を行ふこととした。左右をあわせるとWで、あなたとわたしがIで、I(わたし)を意味します。

今後に向けて
る。また、今回の申請では、現在、13年度のプロジェクトにおける申請をし、あるなる緑化による効果の拡大を図るために、長期的継続性のある行程の必要性を訴求する。

| 12年度 | 8月 10月 11月～12月 12月～1月 1月～2月 | 小測基金プログラム立案・決定 来賓県プログラム開始 境界固定、整地、穴あけ、植樹用穴掘り 苗木27万株購入 植樹…青年ボランティアを含む4000人余の人々による (日本人ボランティア12名派遣参加) 植栽樹種・規模…馬占相思 100ha 雑交竹 40ha 良種ユウカリ 60ha 施肥・害虫駆除・補植 除草、春の雨量不足に対する灌漑 施肥・害虫駆除 活着率及び保存率の調査 ★活着率…89% |
|-------|---|--|
| 3月～4月 | | |
| 5月 | | |
| 7月 | | |
| 8月 | | |



題字・鳩山威一郎

機関紙「友愛」
発行所

(財)日本友愛青年協会

〒112-0002 東京都文京区小石川1-10-13

松本ビル2F

TEL 03-5684-3188

FAX 03-5684-3186

発行人: 川手正一郎

編集人: 長田正太郎

隔月1回 10日発行

購読料
年額 3,000円

「小測基金」による助成事業の取り組み

中国では多角的な植林緑化の取り組みがなされていますが、一方、わが国から日本政府による中国支援のほか、NGO等による中国での植林緑化協力の取り組みが行われてきました。平成12年、日中緑化交流基金は、日中民間緑化協力委員会設立金の「小測基金」により、わが国の民間団体等が中国において中国側のカウンターパートとともに共同して行う植林緑化活動、具体的には、中国の植林緑化政策に適合する長江・黄河流域などにおける23の案件に対し助成することになりました。そして、今回第1回目の植林緑化運動を日中双方企画のもと柳州地区來賓県で行ったのです。

人口密度も高く、生活の中の区域である。プロジェクト実施区域は主に伐採の敵の密生に伴い、野性動物地と耕地化の林地を還元する区域にあるため、野生動物繁殖の場所を提供することで、森林の生長と森林資源に影響は少ない。しかし、ハブル崩壊後は、経済の復活に十年余を費しました。まだまだ遠慮です。◆二十世紀を迎えて、これから五十年に自立した日本としてはまだ遅すぎます。冷戦構造も多くなります。冷戦構造も本とて果たすべき役割も大きい。アメリカ、ヨーロッパなどに一方の核としているが、東南アジアを基盤とした。フィリピンのスマトラ島、マレーシア、インドネシア、カンボジア、ベトナムなどに広がり3千万人オオ四十人分を食べています。日本の資金が東南アジア諸国では効力を発揮します。費用対効果を考えたお金を使わなければなりません。日本との経済の活性化に繋がります。



